

令和4年度盛岡第二高等学校第1回学校評議員会 記録

令和4年7月8日(金)

15:20～16:50

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校評議員 4名
学校職員 9名

○日程 14:30 受付 14:40:校舎見学 15:20:評議員会(～16:50)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 校長挨拶 (校長)

今年度、新入生 184 名を迎えてコロナ禍の中、落ち着いて生活をしている。コロナ禍において、生徒の安全安心を心がけている。高校総体も薙刀部、卓球部、ソフトテニス部が出場、また、東京で行われる全国高総文祭には、箏曲、囲碁将棋同好会、視聴覚委員会が岩手の代表として出場することになっている。今年度の新入生から新学習指導要領が始まっている。皆様方から忌憚のない御意見をいただきたい。

(3) 令和4年度学校概況説明

ア 学校経営計画について(校長)

1 現状把握及び将来展望

学校に対するニーズ

生徒 ○学校生活の充実

○わかる授業と学力の向上

○進路希望の実現

保護者 ○心身の健やかな成長が何よりも大切だと考える。

2 校訓・教育目標 校訓『白梅精神』－「進取」「清楚」「強健」－
心身共に健康で、情操豊かな人間の育成

3 目指す学校像について

今年度の重点目標

ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る

イ キャリア教育の充実により、進路希望の実現を図る

ウ バランスのとれた教育活動を実践し、主体性と協調性の育成を図る

エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの未然防止を図る

オ 地域とともに歩む学校として開かれた学校づくりを推進する

・悩みを抱えていたり、コミュニケーションをとれなかったり、学校に足が向かない生徒がいる。一人ひとりに寄り添った教育活動を行い、自立できる子どもを育てるのが高校だと考える。

イ スクール・ポリシーについて(副校長)

普通科での特色ある学校づくりを進めるため、スクール・ポリシーを明確化する。中で

もカリキュラム・ポリシーに学校の特色が出ると考えている。

評議員：今までは、個性を伸ばし、個性を大切にと言われてきた。一人の先生が自分の進路を見出してくれたという例もあるが、個性を出す項目があってもいいのではないか？

副校長：たくさんものに参加させることによって、発見してほしい。同じような人を育てるのではなく、適性を見つけてアドバイスし育てていく。

校長：集団の中でコミュニケーションをとり、集団の中で個を出し、褒める、伝える生徒になってほしい。自分の力で生きていき、自分で最終決定ができるようにさせたい。

ウ 重点目標について

【総務課】（総務課主任）

- 1 P T A（白梅振興会）活動の活性化
 - ・今後、コロナ禍解消の中でスリム化でもよいものは、スリム化していきたい。
- 2 白梅同窓会総会が7月3日に行われたが、若い人が少なかった。

【教務課】（教務課主任）

- 1 生徒の学力向上
 - 具体的目標は、次の4つ。
 - 授業の集中力を高める
 - 家庭学習習慣を身に付けさせる
 - きめ細かい教科指導を図る
 - 部顧問による学力向上及び家庭学習の支援強化を図る
 - ・授業改善を図るため互見授業を実施。ICT活用なども参考にする。

【生徒指導課】（生徒指導課主任）

具体的目標

- 1 生徒規律の確立
 - ・挨拶はおとなしい生徒が多い。
 - ・整容指導に関しては、長い髪を結ぶ等の規定を廃止した。
 - ・問題行動が少ない。ネット上のトラブルなどに巻き込まれないように、ケータイ・スマホ安全教室は継続していきたい。
- 2 生徒会活動・部活動
 - ・部活動の活躍が見られる。
 - ・応援団員は、新入生が3名入団し、4名で活動中。
- 3 安全指導
 - ・自転車事故に注意。

【進路指導課】（進路指導課主任）

具体的目標

- 1 各種講演会等の充実
- 2 進路指導の充実
 - ・キャリア教育の充実。インターンシップ、ふれあい看護体験も実施。
 - ・課外授業の充実、今年度も、月、火、木曜日。

評議員：二高では、いつ頃から推薦指導に力を入れるようになったのか？

進路主任：総合型推薦の枠が増えた。大学側が、大学に入学してからどういう学びをしたいか（学習計画書）を提出させる場合が増えた。

校長：総合型も、学校推薦も一般入試も、どれも価値のある合格。推薦入試で入学した生徒のほうが、大学に入ってから伸びが大きいという報告もある。

【保健厚生課】（保健厚生課主任）

1 健康管理及び保健指導の徹底

- ・生徒昇降口に非接触型体温計と非接触型消毒を設置し、生徒の健康を保持している。

2 保健衛生及び安全管理指導の徹底

(4) 懇談

○総務課：二高生には、どのような形での地域参加が期待されているか、伺いたい。

○評議員：地域に関わらず、外部に自分で情報を取りに行っている生徒はいる。一人だからと気にせず、参加してほしい。また、そういった生徒が次に友人を誘って参加すると視野も広がっていき良いと思う。

○教務課：昨年度の1学年は課題にかける学習時間の増加が全体の学習時間の増加につながっており、内発的な動機による増加ではない。本校の学力面に対する印象や期待することはどのようなものか、伺いたい。

○評議員：分かりやすいって何だろう？生徒が挑戦して自分で分かる。やってやろうと思う。ICT教育も、うまくやっていけば、能動的になる。

○生徒指導課：登校時の通学状況、制服、特に女子のスラックスについてご意見を伺いたい。

○評議員：汗で首回りが汚れることもあるので、見直しには賛成。

○評議員：制服で二高生だという気持ちになれることもあると思うが、時代に沿った流れが必要なのでは？制服を自由にすることで、逆に学習に励むこともあるのではないか。

○進路指導課：生徒が地域と関わるキャリア活動についてご助言をいただきたい。

○評議員：二高に入れば、皆大学進学なのか？お金がなくて進学できないとか、補助などあったりするのか。

○副校長：大学進学だけではなく、看護職につく生徒も多い。

○保健厚生課：心身の健康の問題を抱える生徒も多く、たくましい生徒の育成のご助言を伺いたい。

○評議員：中学校も朝から保健室利用が多い。養護教諭も一人で手一杯の状態。

○評議員：女性特有の悩み、同じ女性でも大変な生徒と、軽い生徒がいる。男の先生も対応が大変かと思う。

(5) その他

(6) 閉会の言葉（副校長）